



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

中学生に対する防災教室 ～災害を知り、危機に備える～

1等海曹 樺澤 裕岳

自衛隊群馬地方協力本部沼田地域事務所(所長 2等陸尉 土屋 章)は、令和6年9月6日(金)に片品村立片品中学校において、全校生徒80名に対して防災教育を実施しました。

群馬県は、比較的災害が少ない県ですが、沼田地域事務所が担当する県北部は山間部のため、近年多発している集中豪雨などによる崖崩れや土砂災害に注意が必要な地域となっています。教育の中で過去の災害映像や体験談などを折込ながら分かりやすいように、「その時どうする。」「何をすべきか。」「何が重要か。」を質問形式で行い、生徒自らに考えてもらいました。

実際の災害映像では、「初めて見ました。」「すごい。」「怖い。」などの声が聞かれましたが、このような災害が、いつどこで起こるかわからないからこそ、日頃からの準備・備えの大切さを伝えました。

生徒から、「実際の体験談を聞ける機会はなかったので、凄く考える時間になりました。」「日頃からの準備、防災訓練の重要性を学びました。」等の感想を頂いた。また、先生からは、「災害は、まさにいつ何処で起こるか分からないことを学び、防災に対する意識が変わった生徒が多かったように感じます。」「とお言葉を頂きました。

自衛隊群馬地方協力本部は、今後も自衛隊の活動をより幅広く知ってもらうと共に地域の特性を踏まえた防災教育を実施し、防災意識の普及に貢献していく。



百貨市に参加して

2等空曹 沖 聡子

自衛隊群馬地方協力本部太田出張所(所長 1等海尉 谷本 明)は、令和6年10月20日(日)、第12後方支援隊の支援を受け、太田市立太田高等学校で開催された百貨市(文化祭)に参加しました。

参加のきっかけは、令和6年6月30日(日)に開催された、地域イベント「キタグチマルシェ」にて、広報活動を実施した際に、自衛隊ファッションショーに参加した太田市立太田高等学校の生徒から「これ、百貨市(文化祭)でも出来たら盛り上がるよね。」という発言であった。

その生徒から先生へ、また広報官から先生へ提案することにより、太田市立太田高校文化祭「百貨市」に参加することになりました。

実施にあたり、彼女達との打ち合わせを行った際には、教室の中にキチンと生徒側と自衛隊担当者の席が用意されており、代表者の生徒から、「本日はお忙しい中、お越しいただきありがとうございます。よろしくお願いします。」と挨拶をされ、こちらも身が引き締まる思いでした。

文化祭当日は、朝から冷たい強い風が吹き、実施に不安がある天候となりましたが、一般開放開始の時刻には風は止み、日差しが暖かく感じる陽気となり、たくさんの来場者の方から、「自衛隊の制服、着てみたい!」「自衛隊の車、乗れるんですか?」「南極の氷って本当に南極から運んできたんですか?」など、興味を持って楽しんでいただきました。

「百貨市」終了前には、代表者の生徒から「お陰様で、たくさんの来場者の方々に楽しんでいただきました。ご協力ありがとうございました。と挨拶をいただきました。その顔は、とても充実感に満ちており、素敵な笑顔でした。

自衛隊群馬地方協力本部太田出張所は、今後も出会いと繋がりを大切にし、地域に根ざす広報活動を実施していく。



「百貨市」当日の様子



令和6年6月30日(日)に開催された地域イベント「キタグチマルシェ」